

町長の所信表明に対する総括質疑の概要

平成26年第4回二宮町議会定例会

日 時 平成26年12月17日（水） 午前9時30分より

No.	質 問 議 員	質問の概要（本人の提出原稿）
1	小笠原陶子議員	①町長は予算をゼロから見直すとのことですが、予算は総合計画に沿って配分されています。総合計画に対する考え方を含め、ゼロから見直す手法を伺う。 ②予算編成の過程を透明化することとのことですが、どのような仕組みを考えているのか。 ③「町長退職金の廃止」については、退職金組合に働きかけるとのことだが、時間のかかる問題である。組合を脱退することもあり得るのか。公約違反とならぬような取り組みとすべきだがどのようにしていくのか。 ④町長は子育て世代に選ばれる「安心して子育てできる」「住みたい・住み続けたい」町づくりを進めるとのことです。町が生き残るために子育て世代の定住促進は重要ですが、一方で現在の二宮町に住む、高齢者の方々が快適に暮らせる町としてのアピールも重要である。「地域福祉計画」を策定することになっているが、それを担う二宮町社協との連携を今後どのようにしていくのか。他のNPOや任意団体等の連携も併せて考えを伺う。
2	一石洋子 議員	①二宮町が存続する意義とは何か。 20年、30年先の二宮町について、町長のヴィジョンを問う。 ②貴重な緑資源であり、防災的にも、保水力、地盤強化力のある大きな木々を切り倒す宅地造成が今もお進められている。今後いかに温暖化緩和策に努めても、200年は続くと言われる異常気象への適応策として町の環境基本条例をどの様に進めていくのか。 ③財政を見直す、土地有効活用、地域公共交通、福祉計画全てにおいて町民参画を得て検討するとある。今までも町民参画は謳われてきた。 ・今までの手法の問題点は何か。 ・今後どのような仕掛けで町民参画を進めるのか。 ④子育てしやすい町と言っているが、子育てしやすいとは何を意味するのか。 以上

備考：2番目の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。